

総合的な学習指導案

奈良市立済美南小学校

6年

指導者 中村 友弥

(1) 単元名 忍性さんの生き方から学ぼう ～忍性さん紹介新聞をつくる～

(2) 単元の目標

- ・ 忍性の慈愛に満ちた民衆救済の生き方を調べ、人権や生命を尊重する姿勢を身につける。

【知識・技能】

- ・ 忍性の生き方から自身の生活について考えることができる。

【思考・判断・表現】

- ・ 忍性について意欲的に調べ、進んで取り組むことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 単元について

本単元では、奈良生まれの忍性さんに焦点を当て、忍性さん紹介新聞をつくることで忍性さんの生き方に迫り、持続可能な社会の担い手を育む。

・ 教材観

忍性は、奈良生まれで鎌倉期の律僧である。ハンセン病患者への偏見に満ち溢れた時代にもかかわらず多くのハンセン病患者を救済した。忍性の慈愛に満ちた民衆救済に生きる姿は、師である叡尊に「慈悲に過ぎた」と言わしめたほどである。忍性の生き方は、人のために尽くしたものであり、その功績から学ぶべきことは多い。人権や生命を尊重する生き方や他者を排除したり犠牲にしたりすることがない生き方を学ぶことで、他者と協力する態度やつながりを尊重する態度を育むことができる。

・ 児童観

省略

・ 指導観

指導では、まず、忍性が分け与えた服の数や建てた寺の数などをクイズ形式で示す。33000着という数の多さで児童の興味・関心を高める。その後社会科で学んだ行基と同じように、忍性は菩薩号を与えられたことを教える。奈良生まれのお坊さんで菩薩号を与えられているにも関わらず、忍性のことはおそらくほとんどの児童が知らないと思われる。そこでこの単元のめあて「忍性さんを調べ、紹介する新聞をつくろう」を示す。

調べる前に、菩薩号は人々を救うために奔走した人、お坊さんの中で特に優れた働きがあった人に贈られるものということを紹介する。

調べる資料として、十種の請願、栄福院浄土寺発行の絵本「忍性さん～笑顔のお坊さん～」、読売テレビ制作のアニメ「笑顔のお坊さん忍性すべては、母から始まった」、忍性の年表、北山十八間戸の写真、ハンセン病患者の資料などを用意する。調べ学習が進めば、奈良国立博物館忍性展の見学を行う。調べる課題は、2つ提示する。1つめは、「忍性さんはどんな人物か」。どこで生まれてどんな人生を歩んだかなどである。2つめは、「忍性さんはなぜ菩薩号を与えられたのか」。この単元の主発問でもある。ハンセン病患者救済や常施院を立てたことなど救済のために尽力したことが評価されたことや多くの民に慕われていたことに注目させたい。

調べたことは、新聞の記事として書き、調べたことを整理する。書いた記事は、グループで見せ合いより分かりやすい内容に練り直す。練られた記事をもとに新聞のレイアウトを話し合い、新聞を作成する。新聞の一面記事は、「なぜ菩薩号を与えられたのか。」に迫る記事とし、グループや学級全体で話し合いができるようにする。新聞を見せる読ませる対象者は、忍性のことをあまり知らない保護者や在校生と国立博物館の関係者や新聞記者、有識者等である。完成した新聞を配布し、多くの方に忍性のことを広める。最後にふりかえりとして「忍性さんの生き方から自分が学ぶことは何か」を問い考えさせる。救済とは決して難しいことではなく、友達と協力して学習したり知人他人問わず優しくしたりすることが大切であることを再認識させ、学習を終える。

・ ESDの観点

IV 公平性（一人一人大切に）

ハンセン病患者への偏見があつたにもかかわらず献身的に支援をする忍性から、人権や生命を尊重する生き方や他者を排除したり犠牲にしたりすることがない生き方を学ぶことができる。

V 連携性（力を合わせて）

地元の人たちや信者、お坊さんと協力して橋や病院、保養所を数多く建てた。多様な主体が状況や相互関係などに応じて順応・調和し、互いに連携・協力していたことを学び取れる。

(4) 評価規準

知識及び技能 【コミュニケーションを 行う力】	思考・判断・表現 【批判的に考える力】 【他者と協力する態度】 【つながりを尊重する態度】	主体的に学習に取り組む態度 【進んで参加する態度】
<ul style="list-style-type: none"> ・服を分け与えたことや多くの患者を助けたことなど忍性の生き方を理解している。 ・資料をもとに調べ、新聞記事にできる情報を手に入れることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・服を分け与えたことや多くの患者を助けたことなど忍性の生き方から自身の生活態度について考えることができる。 ・グループで協力し、友達が書いた記事を活用して新聞を作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・忍性について意欲的に学習することができる。

(5) 単元展開の概要 (全8時間)

時	主な学習活動	学習への支援	◇評価・備考
1	<p>1. 忍性が分け与えた服の数や建てた寺などの具体的な数字を用いたクイズをする。</p> <p>2. 忍性の写真を見て知っていることを話す。</p> <p>3. これからの学習課題を示す。</p>	<p>○クイズ形式で学習へのきっかけを作る。</p> <p>○行基菩薩のことを示し、同じ菩薩号を与えられた奈良生まれの人であることを紹介する。</p>	
忍性さんを調べ、紹介する新聞をつくろう。			
	4. 学習計画を確認する。	○学習計画を掲示する。	
2 3 4	<p>1. めあてを確認する。</p>		
忍性さんを調べよう。			
	<p>2. 調べる課題を確認する。</p> <p>3. アニメ「笑顔のお坊さん忍性すべては、母から始まった」を視聴する。</p> <p>3. 奈良国立博物館「忍性展」を見学する</p> <p>4. 資料から調べ、調べたことは、調べカードに書き込む。</p>	<p>○課題は、以下の2つ。 ①「忍性さんはどんな人物か」 ②「忍性さんはなぜ菩薩号を与えられたのか」</p> <p>○見学前に博物館の方から見所を話してもらおう。</p> <p>○資料は、教員が用意。</p>	<p>◇服を分け与えたことや多くの患者を助けたことなど調べカードを1つ以上書くことができたか。</p>

5	<p>1. めあてを確認する。</p> <div style="border: 2px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px 0;">調べたことを記事にしよう。</div> <p>2. 新聞をつくる手順を確認する。</p> <p>3. 調べたことをもとに記事を書く。</p> <p>4. 記事を見せ合いより伝わる内容にする。</p>	<p>○手順を掲示する。</p> <p>○写真や資料、国立博物館見学の様子などを示す。</p> <p>○調べたことをもとに記事が書けているか机間指導をする。</p>	<p>◇記事を1つ以上書くことができたか。 【記事】</p> <p>◇自分の記事について述べられたか。友達の記事を読み、自分の意見感想を述べたか。 【見取り】</p>
6 7	<p>1. めあてを確認する。</p> <div style="border: 2px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px 0;">一面にする記事を考え、新聞のレイアウトを話し合おう。</div> <p>1. 話し合いの手順を確認する。</p> <p>2. 一面記事を決めるために話し合う。</p> <p>3. 選んだ一面記事を紹介し、意見をもらう。</p> <p>4. レイアウトを決める。</p> <p>6. 新聞を完成させる。</p>	<p>○手順を掲示する。</p> <p>○「なぜ菩薩号を与えられたか」に一番迫っている記事を一面にする。話し合いの視点を明確にする。</p> <p>○読売新聞の記者からテーマに添えているか意見してもらう。</p>	<p>◇「なぜ菩薩号を与えられたのか」が分かる新聞が作成できたか。 【新聞】</p> <p>◇友だちの記事を4つ以上活用することができたか。 【新聞】</p>
8	<p>1. めあてを確認する。</p> <div style="border: 2px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px 0;">新聞を配布し、学習を振り返ろう。</div> <p>2. 新聞を配布する。</p> <p>3. 忍性の生き方から学ぶことを考え話し合う。</p>	<p>○事前に保護者に読んでもらう。大切だと思ったところに線を引いてもらう。</p> <p>□忍性の生き方から学ぶことを考え、具体的な学びを見出すことができたか。【カード】</p>	

2016年10月5日

奈良市立済美南小学校

忍性さんを紹介しよう

忍性大願新聞

十種大願



ハンセン病の人を町まで運ぶ忍性

忍性の目々

鎌倉時代の僧・忍性さんは、母が死ぬ直前に「侍ではなく僧になつてほしい。」と言われ、そこから修行を積み、立派な僧になった。忍性さ

んは、病院や牛馬の保養所をつくり、ハンセン病の人を町まで送迎した。貧しい人には食べ物を譲ったり自分が生きる上で目標やルールを定めた。十種大願をつくつたりした。忍性さんは、生きた

神様、つまり菩薩の称号をもらうのだ。日照りが続いた鎌倉で雨ごいを頼まれると数日かけて必死に雨ごいをした。「私の命とひきかえに雨を降らせたまえ！」と言うと白い蛇が天に上り、雨を降らせ

たという。後に忍性さんは、病を患った。仏様の前で、お経を読み、ピクリとも動かず静かに息を引き取ったという。忍性さんの骨は、三つのお寺に納められたとい

忍性は、人生でやる目標を「十種大願」として、死ぬまでにその目標を果たしました。その一部の第四願と第十願を紹介しましょう。第四願 病気でない限り、輿や馬には、乗らない。第十願 以上、九つの願を實現し功德が

あれば、それを自分のものとせず、すべて他人に施すことにする。忍性は、この「十種大願」を死ぬまでに果たしたのは、すごいなと思いました。何個かの目標を立てて生きていけたらしいなと思いました。

目標を果たした忍性

当時五十六歳の忍性さん、十種大願（忍性菩薩十種大願）を自分の目標として作つ

た。忍性さんは、朝、昼、晩の三時の勤行と、朝夕二回の談義への参加に励む。や病気でないかぎり輿（乗り物）に乗らない。などなど他八個の願いを目標とした。私は、忍性さんが目標として作つた十種大願を全部守ることができないと思います。だから私は、

すごいぞ忍性

鎌倉時代の僧、忍性さんは、母親から侍からお坊さんになってくれと言われる。

ある日、関東の法へいくことになった。その時政治のトップ北条氏につくことになりました。するとある時、毎日かんかんでりの日が続きました。すると、忍性さんは、命をかけてねんじまりました。すばらしい忍性さんは、これほどやさしくできる人はいないなと思いました。



忍性像 奈良国立博物館

十種大願を目標にした忍性は、すごいと思えました。

忍性新聞

人の命を優先



忍性像 奈良国立博物館より

忍性概要

鎌倉時代の僧・忍性さんは、母が死ぬ直前に「侍ではなく僧になってほしい。」と言われ、そこから修行を積み、立派な

僧になった。忍性さんは、病院や牛馬の保養所をつくり、ハンセン病の人を町まで送迎した。貧しい人には食べ物を譲ったり自分が生きる上で必要な「十種大願」をつくったりした。

忍性さんは、生きた神様、つまり菩薩の称号をもらった。ある日、何日も日照りが続いた鎌倉で雨ごいを頼まれると数日かけて必死に雨ごいをした。「私の命とひきかえに雨を降らせたまえ！」と言うと白い蛇が天

に上り、雨を降らせたといい。後に忍性さんは、病を患った。仏様の前で、お経を読み、ピクリとも動かず静かに息を引き取ったという。忍性さんの骨は、三つのお寺に納められたという。

鎌倉時代の僧である忍性は人をたたくさん助けてすごいなと思いました。ハンセン病になっている人にも誰もしゃべりかけず近かざりかかったのにただ一人、忍性だけが助

鎌倉時代に、生きていたお坊さ

優しい忍性

ん忍性さんは、どんな人にもやさしくせつしていた。ある日、小さなハンセン病患者がいた状態がひどく歩けない、人は、移るのをこわがり、寄りさいしない。そんな中、忍性さんは、背中に背負



忍性さんの顔

い、町まで送り続けた。ここまで、人に優しく接することが出来る人は、いないとおもいます。やっぱり忍性さんは、すごいと思います。

けに行つた。奈良の北まで、助けに行つた往復4キロの送り迎えをした。ぼくは、そんな忍性が凄いなと思いましたが。ぼくもそんな風になれたらいいけど・・・

命を運ぶ

僕たちは、忍性さんのやったことで菩薩の称号を与えられた理由に1番ふさわしいものを選んだ。それは、ハンセン病の人を送迎したことです。何年も奈良町から奈良の北のほうまで送迎したことがすごいと思いました。送迎したその男の人にも感謝されていたので、きっと他の人からもすごいと思われていたと思います。ぼくは、忍性さんのやった事を見習って人のためにつくしたいです。

参考文献

「忍性」 松尾剛次著（ミネルヴァ書房）

栄福院浄土寺発行の絵本「忍性さん～笑顔のお坊さん～」

読売テレビ制作のアニメ「笑顔のお坊さん忍性すべては、母から始まった」